

# 令和6年度 第1回鶴岡市学校給食センター運営委員会

日時：令和6年7月31日（水）午後3時～

場所：学校給食センター 2階会議室

## 1. 開会 （所長補佐）

## 2. あいさつ （教育長）

## 3. 委員長、副委員長の選出

委員長・・・寒河江 結香 委員（羽黒中学校PTA副会長）

副委員長・・・風間 成彦 委員（大泉小学校長）

## 4. 報告 （議長 寒河江委員長）

報告第1号：令和5年度鶴岡市学校給食センター運営状況等について（資料により説明）

質問・意見なし

報告第2号：令和6年度鶴岡市学校給食センターの運営方針について（資料により説明）

委員：調理機器の部品が脱落し異物混入となるケースがあり、その場合は金属異物となり健康被害が出るとして大きな問題になりやすい。予算確保が難しいであろうが、日常点検の徹底や計画的な機器更新をお願いしたい。

所長：長期休みの期間を中心に計画的にメンテナンスを行っているところ。老朽化により修繕が困難な部分もあるが、可能な限り計画的な修繕を進め、安全性の確保に努めたい。

委員：給食費無償化の継続の見通しは。また、食べ残しが課題となっているが、よく食べる子に多く配食してもよいものか。

所長：給食費無償化の財源として、令和4年度ではすべて、5年度では一部を国の臨時交付金を活用しており、6年度はすべて市の独自財源となっている。本事業は子育て世代の負担軽減を目的としており、いつまでという期限は設定しておらず、今後の情勢や市の財政状況を勘案して検討する。

栄養教諭：朝日地区の小中学校は食べ残しが少ない印象であるが、個々で見ると個人差が大きいと感じている。少食の子が多い学年であれば、食べ残しが多くなる。学校内で給食の量を調整することは悪いことではないが、肥満の子には栄養指導の範囲の中で配食をお願いしたい。

委員：給食センターの稼働日を検討するにあたり、学校の授業日には給食を提供できるようにお願いしたい。

所長：今年度の給食センターの稼働日については、一昨年度の校長会において可能な範囲で日程調整をお願いしたところ。長期休暇時でないといけない場内清掃や機器メンテナンスの期間を確保したいというのか理由。来年度については、次回の校長会においてセンターの稼働日案を提示してご意見をお聞きする予定にしている。

委員：学校での取組みの参考にしたいので、食べ残しが増えている理由を教えてください。

栄養教諭：センターでは詳しく分析をしていない。学校で出来ることとして、食べる量と速さは個人差があるので、給食時間を十分に確保することや、先生が子どもの個性を把握し配食量を調整することで完食したという満足感を持たせてあげることが必要であると考えている。

## 5. 意見交換（進行 所長）

新学校給食センターにおける「鶴岡らしさ」について（資料により説明）

委員：鶏飯とかリャンパンメンなど、今ある人気給食を継続して提供してほしい。

委員：本市は食材が豊富な地域であり、今ある食材を十分に活用してほしい。

委員：市内はもとより他市町村の親子が新給食センターを体験・見学でき、鶴岡の良さをPRできる施設になればよい。

委員：他産地消や地産他消といった取組も必要ではないか。また、給食試食会の再開や献立の写真集を作ってPRするのはどうか。

委員：親子給食に対する要望があるようだ。また、家庭の事情がある子がいるので、父の日や母の日など限定した取組みにしないほうがよい。

委員：ハード面では、給食発祥の地の歴史館や、親世代が懐かしく思う給食を提供・販売するレストランを設置して、その収益を給食費に充てることはできないか。また、ソフト面では、ユネスコネットワーク関連給食など鶴岡のバックボーンを活かした献立づくりによって、子どもと教師とのコミュニケーションツールになるのではないか。

委員：飲食店とのコラボ献立はおもしろいと思う。市民が興味を持つことで給食に注目することになる。親子給食会も良いと思う。また、核家族が増え、家庭で季節ものを作らなくなったので、給食で提供してほしい。

委員：家族で施設見学や試食が出来れば、家庭で食育の話題が増えるのではないか。

委員：若い親が増え食文化の継承が懸念されるので、給食で郷土料理を提供してほしい。

委員：無償化でも食物アレルギーの子を持つ保護者は弁当代がかかっており、新センターではアレルギー対応食を提供してほしい。子どもにとっても同じような給食をみんなと食べられるのは良いこと。不登校の子でも給食を食べに来ているので、とても重要なものと考えている。また、献立に応じた食器を子どもたちに使ってほしいのでカレー皿とどんぶりをそろえてほしい。

所長：新センターに関して、アレルギー対応食や食器の充実について検討しているところ。

委員：学校給食サミットでの昔の給食に興味を持った。昔ながらの給食も変わりつつあるので、その変遷が分かる給食の提供も面白いと思う。大人になっても自慢できる給食が提供できればいい。

## 5. その他

小林所長が、5月21日に発生した米飯委託業者の炊飯機器の故障により一部学校へ防災食を提供したことについて報告した。

（閉 会）